

令和6年度移住・定住・交流推進支援事業

NO.	都道府県	市区町村	事業名	実施主体名	事業の趣旨又は目的	事業概要	助成額 (千円)
1	北海道	栗山町	くりやまの暮らしを知る セミオーダー移住体験 プログラム	くりやま移住促 進協議会	移住検討者の不安を解消するため、移住検討者の希望するセミオーダー体験 (就業・居住・教育・保育・先輩移住者と交流等)の町内関係機関との調整等を し、実際に栗山町での体験をすることにより移住者の後押しをする。	〇くりやまの暮らしを知るセミオーダー移住体験プログラム・短期ステイ・長期ステイ 移住検討者が希望する地域住民等とつなげる体験等 〇効果的な事業周知を図る広告活動	1,368
2	北海道	大空町	大空町関係人口創出事 業 PROTO OZORAプ ロジェクト	大空町	地域内外の人の関わり合いや誰もがチャレンジできる場づくりを通して、地域への 人の流れと交流を生みだし、地域内外の交流の場の創出につなげることを目的と する。	〇高校生・地域内外、官民連携による会議体の設立 〇実証実験の企画・実施・検証 〇お試し暮らしツアーと抱き合わせによる地域内外の交流 〇実証を踏まえたアイデア社会実装の具現化 〇町主催から民間母体への移行検討・準備	964
3	岩手県	盛岡市	事業者と高校生等の共 創体験を通じた未来の パートナーシップ事業	盛岡という星で BASE STATION 運 営協議会	市内の中小企業や商店街(個店)等の事業者における高校生等の若者との共創 価値に対する理解を促進し、「地域における新しい共創パートナーシップの土壌 づくり」を通して、将来的な定住人口や関係人口活性化を図る。	事業者が高校生と一緒に取り組みたいプロジェクトを設定。プロジェクトごとに課題解 決に向けた取り組みを進め、その成果を発表する場を設ける。プロジェクトの進行プロ セスに応じて、経験や知識をもつアドバイザーが参画しプロジェクトの推進を後押しす る。	2,000
4	宮城県	栗原市	人と地域の「特技」を マッチング!イエ・コト・モ ノ地域づくりプロジェクト	一般社団法人 はなやまネット ワーク	中山間地域に普遍的に存在する多様な課題への一助となるとともに、栗原市花 山地区における持続可能な地域づくりに向けた取組みの一つとして展開するも の。	①地域内のイベントやワークショップ拠点の一つとなる「空き家」としてだけでなく、将来 的には増加している移住者へ貸し出すことができる「住まい」となるよう片付け、掃除、 風通し、整備を行う。 ②地域内の潜在的ニーズを把握するセミナーやワークショップ、体験型プログラム等の イベントを開催する。 ③地域内外で協力しあい、「体験プログラムメニュー表」を作成する。	2,000
5	秋田県	大仙市	イベント参加型関係人 口増加プロジェクト	一般社団法人 大仙エンジン	首都圏のクラフト市出展者等と大仙市内イベント関係者との関係を築き、定期的 な訪問等で地域と繋がる関係人口の増加を目的とする。	〇首都圏のクラフト市などに出店する個人事業主をターゲットとした地元イベントへの 参加の促進 〇大仙市に興味がある人や首都圏事業者との交流深化のためのオンライン交流の機 会の創出 〇事業内容の記事化・発信	2,000
6	秋田県	由利本荘市	由利本荘市と首都圏をつ なぐ「本荘ごてんま り」制作体験教室・ごて んまりロード整備事業	由利本荘市	首都圏在住者を対象とした伝統工芸品の制作教室による由利本荘市のPR、さら には制作品の展示により首都圏と市の往来を促進し、移住・Uターンの動機付け 及び関係人口の創出を目的とする。	〇首都圏在住者を対象とした「本荘ごてんまり」の制作教室の開催 〇駅構内に制作品を用いたフォトスポットの設置	2,000
7	福島県	新地町	みんなのしんち活性化 プロジェクト	新地アーバンデ ザインセンター (UDCしんち)	新地町ではすべての世代が安心して暮らせる持続可能な環境を維持するため に、多世代間交流をとおした地域づくりや次世代育成、若年世代の移住・定住推 進事業を重点政策して位置づけている。本事業では、これらの取り組みをソフト面 から強化することを目的として、公・民・学連携のまちづくり拠点である新地アー バンデザインセンター(UDCしんち)を活用し、実施する。	①UDCしんちによる新地町の魅力発信事業と担い手の育成 ・近隣地域の実践例の視察や地域外の専門家を招いての勉強会を開催し、「みんなが 住みたくなる新地町」を実現するための活動を企画・実践する。 ②新地町における第三の居場所(サードプレイス)の創造 ・学齢期から高校生にいたるまでのこどもたちが、自由に滞留することのできる場所を 創造する。 ・こどもだけではなく、あらゆる世代の安寧のため「地域食堂」を開設する。 ③国内短期留学による次世代リーダー育成 ・町内在住の中高生を対象とした国内短期留学プログラムを公募制で実施する。 ④大学との連携を活用した次世代教育/生涯教育の実践 ・尚英中学校の生徒を主な対象者として、東京大学教員や国立環境研究所研究者に よる公開授業を、中学校の探求学習と連動して実施する。	2,000
8	茨城県	古河市	新たな交流の場「出城 ノモリ」をとおした地域 人材づくり	古河市	移住者や関係人口を含む市内外の人たちが「学び」「つながり」「楽しむ」機会と して、新たな交流の場を設けることで、地域人材づくりを進め、継続的なまちの賑 わいづくりにつなげていくことを目的とする。	令和6年度版「出城ノモリ」を開催。 【学び編】 ・講師を招いたセミナー開催 【相談編】 ・妄想&アイデア相談会 【実践編】 ・市民参加イベントの開催 ・まちなかDIYワークの運営	2,000
9	栃木県	小山市	都市と地域のみらいを つなぐ「おやま高校生ま ちづくりプロジェクト」	小山市	転出超過の激しい若者世代の発想や視点の活用による本市の魅力の掘り起こし や情報発信、それらを利用したイベントを開催し、「若者が地元愛を持ち、住み続 けたい小山市」を目指す。 それにより、定住人口・関係人口の増加を図るとともに、「若者が活躍するまち小 山市」への市外からの人の流れをつくり、若者世代の移住者増加につなげる。	〇市在住、在学等の高校生で結成される「おやまの魅力発信隊!」によるまちづくり活 動 〇まちおこしイベントの開催 〇イベント開催に係るワークショップ及び勉強会	1,852

NO.	都道府県	市区町村	事業名	実施主体名	事業の趣旨又は目的	事業概要	助成額 (千円)
10	群馬県	安中市	安中市の魅力を再発掘「安中市移住定住赤ペン先生プロジェクト」	安中市	少子・高齢化や若者のUターンの鈍化による地方の人口減少は、全国的に大きな課題となっており、本市においても同様。 その一方で、新型コロナウイルス感染症の蔓延を契機として、ライフスタイルの多様化が進んでおり、地方への移住が注目されている。 本市でも、これを好機と捉え移住定住の施策および地域課題の解決に資する取り組みにより一層推進していくため、アクションプランを策定することを目的とする。	○アクションプラン策定委員会を組織する。 ○外部からコーディネーターを招き、ワークショップ形式で実施。 ○市外からの移住者にも参加していただき、「安中市に移住して良かったこと」「実際不便であったこと」（赤ペンで修正するイメージ→赤ペン先生）など、生の声を反映する。 ○ファシリテーターは、群馬県ファシリテーターの資格を持つ職員へ依頼する。 ○本市の移住定住施策は、「地域づくり」の切り口で始める予定であり、地域づくりの有識者を招く。	1,950
11	千葉県	匝瑳市	そうさハンドメイドマルシェリニューアル事業	匝瑳市観光協会	JR総武本線八日市場駅前にあるそうさ観光物産センター匝りの里（めぐりのさと）では定期的に駅前に人を集客するためにイベントを開催している。 その中でも「そうさハンドメイドマルシェ」は市内外のハンドメイド作家、キッチンカー事業者が集まり多くの関係者・来場者による交流の場として定着してきたところである。 今回そのマルシェをより一層、交流人口の拡大やにぎわいの創出のため行うもの。	・出店者向けスキルアップ勉強会の実施（SNS活用、出店準備、商品ディスプレイ、経営スキル等） ・新聞折込、SNS以外でのイベント告知（WEB広告等）を実施し、今までアプローチできていなかった層へPRを実施 ・コンセプト・装飾等をデザイナーへ依頼しイベント空間全体を統一化し、来場者の満足度を向上させる。 ・市内観光施設連携用2次交通（レンタサイクル）を拡充し、地域への滞在時間の増加を図る。 ・出店者貸出し用備品や来場者飲食スペース用備品を購入し快適な会場づくりを目指す。	2,000
12	神奈川県	小田原市	地魚の魅力体感ツアー事業	小田原市	地魚及び水産市場とそこで働く人々を地域資源と捉え、その魅力を体験することのできるツアーを開催。 これにより、小田原の地魚の魅力、地域の魅力を知ってもらい、ひいては移住定住に繋がるようなきっかけを作ることを目的とする。	○一般人を対象としたセリ見学とセリ落とされた地魚を朝食として食べることの出来るツアーを定期的に開催	2,000
13	新潟県	南魚沼市	イクミライ__プロジェクト	イクミライ__プロジェクト	①事業の趣旨 地方小都市である南魚沼市で子育てをする家庭の中にも、グローバル社会を見据え、子どもに習い事をさせることにより、才能を見つけ、開花させてあげたいと考えている保護者は数多くいます。現在、インターネットやSNSを使用することにより幅広く様々な情報を得ることができる時代となっていますが、一方で南魚沼市では身近な情報ほどインターネットで得ることは難しく、口コミなどによって広まることの方がいまだに多いと言えます。そこで南魚沼市にある既存の学習塾等のならいごと教室に協力いただき、南魚沼市内の学習塾やならいごと教室を集約したプラットフォームの構築するとともに南魚沼市内の学習塾やならいごと教室を一堂に会した「子どものならいごとPARK」を開催することで口コミが届かない人にもこれらの情報を訴求していきます。 ②事業の目的 ・南魚沼市で暮らす子どもたちに多様なならいごとを経験できる機会を提供することで、子どもたちの未来の選択肢を増やすことに寄与します。 ・南魚沼市の子ども達にならいごとなどの学校外活動を浸透させ、新潟県内でも低いと言われている小学生の学力の向上に寄与します。 ・既存のならいごと教室の維持、あわせて新規のならいごと教室の設立に寄与します。 ・南魚沼市で勤務していても県内でより良い教育環境も求め、近隣市町で暮らすという事例が医師、教員などの家庭で多くあると聞きます。令和3年経済センサス活動調査によれば前述のとおり南魚沼市は人口千人当たりの学習塾等の習い事教室の数は1.8であり、新潟県全体の平均値と同値です。このことから新潟県内においては他の市町村と地域間における教育格差は少ないと言えます。プラットフォームを構築したうえで、学習塾等のならいごと教室を集約化し、その情報を広く周知できれば近隣他県や近隣市町村への移住を削減させるとともに、ひいては定住につなげることも可能ではないかと考えております。	①「子どものならいごとPARK」の拡充 ②プラットフォーム構築について	2,000

NO.	都道府県	市区町村	事業名	実施主体名	事業の趣旨又は目的	事業概要	助成額 (千円)
14	新潟県	糸魚川市	ジオフードガストロノミー交流促進事業	糸魚川市	地方の、とりわけ農村、漁村には魅力的な食材がたくさんあるが、その多くが知られておらず、販路拡大や地産地消につながらないことから、若者の流出と高齢化に起因した地域の担い手不足が深刻化し、技術継承が途絶える危機に直面している。反面、日本固有の食文化に魅了された富裕層やインバウンドがガストロノミーツーリズムを実践したいと考えるものの、受入態勢が構築された地方は少ないのも現状である。このたびの事業では、守るべき食資源をジオ（大地）と絡めたジオフードガストロノミーを提唱し、安全、安心な日本固有の食文化の継承に向け事業を運営、展開する料理教室と連携したツアーの造成やブランドブックを制作することで、周辺リゾート地から本市にお越しいただく機会を創出し交流人口を拡大、地域の稼ぐ力を醸成する。	・女性の社会進出や安全、安心な日本固有の食文化の継承に向け全国各地で料理教室を運営する団体と連携し、美食とジオ（大地）を絡めたツアーを造成、モニターツアーを開催する。 ・モニターツアーを開催後、ツアーのターゲットとなる富裕層やインバウンドの受入れに向けて課題となる事項を抽出し、市内の食で地域を盛り上げたい若手料理人・生産者世代等から参加してもらいワークショップを重ねることでツアーのモデルコースを決定、課題解決を図っていく。 ・連携する料理教室からは地元食材を活用した新規メニューを提案してもらい、ジオフードガストロノミー協力店舗から核となる方に登場いただくブランドブック、プロモーション動画を制作することで、周辺リゾート地での情報発信を行う。	2,000
15	山梨県	北杜市	北杜市でのカフェ・レストラン開業支援プロジェクト	北杜市	市内への新規カフェ・レストランを開業し移住を検討している方を対象に、市の食材やアルコール飲料を味わっていただき市の魅力を伝えるイベントやツアーを開催する。また、先輩移住者等の体験談を聞く機会を設け、開業や移住の促進を目的とする。	○市内でのカフェ・レストラン開業希望者を対象にイベントを開催（都内で開業支援・移住支援関係の相談会） ○市内でのカフェ・レストラン開業希望者向けツアーを開催（北杜市内） ○関係課横断的に若手職員が事業を担い、継続的な事業としていく	2,000
16	長野県	箕輪町	「ほどほどの田舎暮らし」魅力発信プロジェクト	箕輪町	・移住促進パンフレット等の活用や県外移住イベント参加による魅力発信を行う。 ・移住体験住宅の活用や移住体験ツアーを通して実際に町に足を運び、地域住民との交流から移住定住に向けての入り口の強化を図る。	○移住促進パンフレット、ノベルティの作成 ○東京及び大阪での大規模移住イベントへの出展（3回） ○定期オンラインセミナーの開催（10回） ○移住体験ツアー事業 ○移住体験施設の整備及び地域住民との交流事業	2,000
17	岐阜県	飛騨市	飛騨市のあんな暮らし体験による移住定住促進プロジェクト	飛騨市	飛騨市での暮らしの魅力を全国にPRするとともに、移住検討者に対し個別の丁寧な相談体制を取ることで、市での暮らしを移住前にしっかりイメージして、確実に移住に繋げていくことを目的とする。	① 地域の文化や暮らしに精通した移住コンシェルジュの設置による寄り添い型相談支援体制の整備 ② 移住検討や引っ越し、雪国での備え等、飛騨市 独自の費用助成 ③ 移住者の住宅ローンの利子補給 ④ 移住専門雑誌への記事掲載 ⑤ 飛騨市での暮らしがイメージできる動画の製作	2,000
18	静岡県	富士市	富士山のふもと「ふじしって」交流・体験イベント等開催	富士市	市民や地域事業者と連携し、県外の移住検討者等を対象とした交流体験イベント及びオンライン移住セミナーを実施し、本市を訪問し、環境や暮らしを直接体験してもらうほか、先輩移住者等の生の声を伝えて、本市の特徴や魅力を“知って”もらうきっかけとする。 併せて、イベント前後でのPR活動により、東京圏での本市の知名度・認知度の向上を図る。	○交流体験イベントの開催（計4回を予定） ○オンライン移住セミナーの開催 ○首都圏で開催される移住相談イベントにおけるPR活動の実施	1,987
19	三重県	名張市	活動人口拡大のためのブランドロゴ活用事業	名張市	令和5 年度に市民参加のワークショップを通じて確立する「ブランドロゴ」を市民ぐるみで活用できる手法を検討・実装し、市内外に発信・浸透させていくことで、まちに愛着を持ち、まちに関わる活動人口を増加させる。	○ブランドロゴ活用のための市民ワークショップの開催 ○ブランドロゴを発信・浸透させていくための移住定住PR冊子の作成、移住イベントへの出展	2,000
20	兵庫県	養父市	国家戦略特区養父市の「食材」等のPRによる地域活性化事業～やぶ2050居空間構想の実現に向けた挑戦～	養父市	2023年オーガニックビレッジ宣言を行った農業特区養父市で栽培された有機野菜や但馬牛などの食材のPR、販売、顧客開拓、就農希望者の確保を行う。 また、養父市が策定した2050やぶ居空間構想＝「互いに理解しあう、協力しあう」ことを感じる空間の実現に向け、移住者と地域住民が「農業」を通じて実践する。	●都市部の移住相談等イベントでPR（通年） ●養父市有機野菜栽培ツアーの実施（11月開催） ●移住相談会等で国家戦略特区の実績や有機農業の推進及び特産品等のPRパネルの作成を行い情報発信を実施。養父市での暮らしをイメージできるプロモーションビデオの上映 ●半農半Xや就農に特化した都市部での移住相談会の開催（年2回）	2,000
21	奈良県	広陵町	「ほっかつ御墳印帖プロジェクト」～万博を契機とした周遊イベントで関係人口を創出！～	広陵町、上牧町、王寺町、河合町	令和7年4月から開始する『大阪・関西万博』において、期間中の想定来場者数2,820万人のインバウンドを含めた観光客にアプローチし、北葛城地域に誘客することを目的とする。	■御墳印帖・御墳印・エリアマップ製作 ・ほっかつ御墳印帖プロジェクトのコンテンツ製作、周遊エリアマップ製作 ■周遊ルート設定 ・周遊ルートの設定 ■ほっかつ御墳印帖プロジェクトプロモーション事業 ・歴史セミナーの実施 ■インフルエンサー活用によるプロモーション事業 ・インフルエンサー活用によるコンテンツの制作	2,000
22	奈良県	下市町	次世代の下市町を担う若者による地域交流・体験・貢献事業	下市町	下市町の若者世代の関係交流人口を増やす取り組みとして、主に地域づくり・まちづくり等に関心のある大学生・20～40歳代の若者をターゲットに、短期間のプログラムを提供し、関係交流人口を活用した次世代に下市町をつなぐ仕組みの構築を本事業の目的とする。	地域交流と体験と貢献を組み合わせたプログラムの実施 1) 地域交流 2) 地域体験 2泊3日程度地域に滞在し、地域貢献(実証事業)につなげていく。 3) 地域貢献(実証事業) 住民や役場職員と連携しながら、実証実験を実施し、より深い関係を構築していく。住民の「あったらいいのに」が試せる場とする。	2,000

NO.	都道府県	市区町村	事業名	実施主体名	事業の趣旨又は目的	事業概要	助成額 (千円)
23	和歌山県	有田川町	農業遺産の地を未来へつなぐプロジェクト	有田川町	みかんや山椒の全国屈指の産地である有田川町と移住希望者の接点づくりを行い、現地でのインターンシップへと誘導することで、地域とのつながりのある移住就農を促進する。	①Webメディアを活用した移住プロモーション ②移住に関するプロモーションツールの充実 ③都市圏等での移住イベント ④移住就農体験インターシップ	2,000
24	鳥取県	米子市	官民連携によるスポーツ健康まちづくり推進事業	米子市	気軽にスポーツを楽しむことができ、なおかつ地域内外の交流が促進されるような機会の増進を図り、ひいてはスポーツを通じて誰もが心身共に健康で豊かに生活することができる社会を実現することで、市の魅力度向上や住みたくなる街づくりに繋げ、最終的には移住者・定住者の増加に寄与することを目的とする。 民間事業者と連携し、民間の人材や施設、ノウハウを活用することで、市単独で事業を実施する場合よりも、多様で質の高いスポーツ教室を実施することができると考えられるため、官民連携で取り組むものである。	(1)事業内容 【親子運動教室】 ①教室概要:親子で一緒に参加するスポーツ教室を開催し、スポーツを通じた子どもの健康な身体づくりや社会性の向上等の健全育成を図る。 ②教室内容:参加者の健康増進や運動能力の向上に繋がる内容の教室を実施する。気軽に複数のスポーツが体験できる機会を提供することで、教室をより魅力的なものとする。また、参加者が継続的にスポーツを行うきっかけを提供する。 ③モニタリングについて:参加者のモニタリングを実施する。 ④交流促進について:市内在住者のみならず、近隣市町村や島根県等の在住者にも広報し、幅広い層の参加を促す。 ⑤今後の展望:教室参加後にアンケートを実施する。ブラッシュアップを続け、住民のニーズにマッチした質の高いコンテンツを適正な参加料で提供することで、本事業の自走化を図る。 【派遣型教室】 ①教室概要:事業者同士を繋げる。 ②教室内容:教室の内容については、派遣される人材の特性や派遣先の施設を踏まえて検討。 ③交流促進について:市内在住者のみならず、近隣市町村や島根県等の在住者にも広報し、幅広い層の参加を促す。 ④今後の展望:次年度以降の事業拡大を意識し、ニーズの把握及び民間事業者同士の連携体制の構築を図ることが狙いである。 (2)事業後の展望 ・本市における官民連携の手法を確立させることにより、次年度以降より効率的に連携することが可能となるため、事業の継続・拡大に向かう。 ・スポーツを通じて、本市の魅力度の向上を図り、最終的には移住者・定住者の増加を実現する。	1,124
25	島根県	江津市	石見なりわいブートキャンプ	江津地域教育推進協議会	過疎地での交流人口増加と、そこからの定住人口へと結びつける取り組みとして、都市部からの参加者へ地域内の自然環境を軸とした「生業(なりわい)」を体験してもらい、都市部との生活環境の違いや、過疎地での課題、可能性を感じていただくためのブートキャンプを実施します。	○都市部で働く世代を対象にした2泊3日の滞在型なりわい体験観光ツアーの開催 ○参加者が地域のリーダーたちと交流できるイベントの開催 ○地域を知り、つながりを持つことで、参加者の第2のふるさとを作り、地域とより深く関わりを持つ関係人口の拡大	2,000
26	島根県	海士町	海士町交流推進事業	海士町	都市住民と地域住民と一緒に米作りをする農業体験を通じて、交流人口と関係人口が増加する好循環を生み出すことによる地域経済の活性化を目的とする。	○都市住民と地域住民を対象とした農業体験イベントを栽培暦に沿って年間を通じて実施	2,000
27	岡山県	和気町	和気町ファンクラブ事業	和気町	R5年度に関係人口創出のため、地域ファンクラブである「和気町ファンクラブ」を設立し、各種事業を行ったところであるが、R6年度は更なる新規会員の獲得や和気町の魅力発信のためのPRに加え、住民や会員との交流を活発化させるコンテンツを増やし、「和気町ファンクラブ」を中心とした継続的な関わりを持つことで関係性を深め、長期的な視点での地域の活力の再生と移住希望者を増やし移住・定住に繋げる。	○会員や住民との交流イベント開催 →東京や町内で交流イベントを開催 ○紙媒体に加えWEBやSNSなどを駆使した情報発信の強化 →季刊紙発行、インフルエンサーを活用したSNSでの情報発信 ○若者に人気のあるポップカルチャーの活用 →声優による音声案内、リーフレット作成など	2,000
28	広島県	庄原市	「庄原里山留学(仮)」事業による若者移住・定着促進事業	庄原市	都市部の若者が庄原での仕事や普段の暮らしに挑戦できる就労型の体験プログラム『庄原里山留学(仮)』を実施することで、地域活力の増大を図るとともに、留学生に庄原市への移住を促し、人口減少に歯止めをかけることを目的とする。	○関係人口創出に向けた「庄原ファンクラブ事業」の一環として、都市部の若者が庄原での仕事や普段の暮らしに挑戦できる就労型の体験プログラム「庄原里山留学(仮)」を実施する。 ・『お試し庄原里山留学(仮)』(2泊3日) ・『庄原里山留学(仮)インターン』(最大3カ月) ・『庄原里山留学(仮)』(1年)	1,697
29	広島県	世羅町	古い建物に新しい“場”を生み出す―ヤドリギプロジェクト	一般社団法人ヤドリギ	今高野山通り(旧商店街)にある空き家を改修し、移住定住や関係人口創出等の拠点施設とする。空き家の利活用モデル事業だけでなく、地域の人や観光客、世羅町と関わるみんなが気軽に立ち寄れる場所づくりを目的とする。	○空き家を改修し、1階はシェア店舗、シェアキッチン、休憩スペースやマルシェの会場として利用する場及び空き家・空き地バンクの相談所とする。2階は会員制宿泊施設として利用する。 ○建物内の改修は専門業者に工事を依頼するだけでなく、空き家改修ワークショップによる参加型イベントを開催しながら当事業を進める。	2,000

NO.	都道府県	市区町村	事業名	実施主体名	事業の趣旨又は目的	事業概要	助成額 (千円)
30	山口県	宇部市	「北部オープンプラットフォームラボ」推進事業	宇部市	「北部オープンプラットフォームラボ」の活動を通じて、地域住民が地元の魅力を再認識し、官民が連携協力して魅力の発信や地域活性化に取り組むことで、地域への継続的な関わりの創出、交流の促進、移住・定住の促進につなげる。	○地域活性化に関する先進事例の紹介や各種スキル向上・空き家問題等の地域課題の解決に関するセミナーの実施 ○スキル活用のワークショップの実施 ○プロモーションイベントの実施 ○地域資源の発掘や磨き上げを目的としたフィールドワークの実施 ○地域づくり人材育成プログラムの開発 ○情報交換会・交流会の実施	2,000
31	徳島県	那賀町	親子de なかくる ～令和6 年度子育て世帯移住促進事業～	那賀町	過疎化に伴う喫緊の課題である少子化問題を解決するため、充実した子育て環境や令和6年度から開始する「保育園留学」のPRによる、子育て世帯関係人口の創出を目的とする。	○親子体操による子育て世帯の交流 ○ワークショップによる子育て世帯の交流 ○移住相談ブースの設置 ○那賀町郷土料理の提供	2,000
32	香川県	小豆島町	移住促進強化のための空き家掘り起こし・ネットワーク事業	特定非営利活動法人Totie	移住・Uターンを具体的な検討ステップに進んでいただくために現在活用されていない住宅を掘り起こし・流通させることを目的とする。	○空き家所有者に向けた情報発信 ○関係者負担軽減と検討者情報入手効率促進のためのWebサイト・デジタルツール等導入 ○物件増加ならびに移住検討者増加問合せ増によるトラブルを未然に防ぐ対策 ○関係者ネットワーク組成ならびに情報共有	1,996
33	愛媛県	西条市	田舎の地域医療を守る! 医師確保のための移住推進プロジェクト	西条市	「住みたい田舎」ベストランキング3年連続全国1 位である本市の移住ノウハウを活かし、移住を望む医師に特化した移住体験ツアー等を実施することで、本市での暮らしや地域医療の現状を知ってもらい、地域医療の課題解消や関係人口及び活動人口の創出を図る。	①移住希望医師の発掘 ・医療人材コンサルタントによるターゲット医師を発掘 ②首都圏で移住相談の実施 ・移住検討者と直接及びオンライン面談を実施 ③移住体験ツアーの実施 ・一人ひとりのニーズに合ったオーダーメイド型体験ツアーを企画。病院見学や医療関係者との交流のほか、生活の拠点等をきめ細かく案内。 ④情報発信事業 ・医師専門求人サイトへの広告やSNSマーケティングを実施	2,000
34	高知県	高知市	地域おこし学校「こうちみませ楽舎」交流創出・地域活性化事業	高知市	楽しみながら地域づくりを学び、生まれたアイデアを形にする地域おこし学校「こうちみませ楽舎」を開校することにより、交流人口・関係人口を創出するとともに、新たな地域の担い手を発掘・育成し、地域内外の人材を活用することで地域の活性化を目指す。	○地域おこし学校「こうちみませ楽舎」の開校 ○地域の課題や魅力をテーマに、楽しみながら地域づくりを学ぶワークショップを実施 ○交流人口・関係人口創出のため、地域をめぐるフィールドワークを実施 ○地域活性化のアイデアを実現するために、アドバイザー派遣を行う。 ○広報誌の発行や、SNS等による情報発信	1,987
35	高知県	中土佐町	土讃線土佐久礼駅を活用した住民交流、関係人口創出への地域活性化施策	一般社団法人なかとさ観光協会	鉄道会社より無人駅を借り受け、観光業務を行い、地域住民や観光客等の集うコミュニティ拠点とする。また、情報収集、発信をする情報拠点として活用し、地域の魅力を発信し、関係人口の創出を目指す。	○地域コミュニティバスの利用者に向けた待合室整備、高齢者の語らいの場創出 ○近隣市場の特産品や生産者が生産物を持ち寄れる場の提供 ○通勤通学者、観光客向けのカフェ開設 ○移住相談、空き家相談の窓口への紹介所設置 ○地域の写真展、子供のアート展、町の伝統漁の案内	2,000
36	福岡県	行橋市	行橋市制施行70周年記念事業「COOKIE LAND IN YUKUHASHI」(仮)	行橋市	世界的に活躍する著名人らの作品展示会を行橋市で開催することで、市民が文化芸術作品に触れる機会を創出し、市外へ文化芸術に注力している行橋市の魅力をPRすることで、移住定住の促進を目指す。	①展覧会 著名人らの作品を集めた「COOKIE LAND」の開催 ②トークライブ 著名人と市民が芸術を通して交流するトークライブを開催	2,000
37	福岡県	遠賀町	遠賀町の未来を照らす移住・定住・交流推進事業	遠賀町商工会	地域の活性化を図るため、町内での雇用の確保により「移住・定住」を推進すること及び、交流人口の増加により地域内外での「交流」を推進することを目的とする。	①「合同説明会による移住・定住推進事業」の実施(リアル開催、Web開催) ②「イルミネーションによる交流推進事業」の実施 九州共立大学との産学連携、幼稚園・保育園児の絵の展示会 ③企画会議開催(企画・内容決定など) ④情報発信(広報誌・Web・各種学校・ハローワークなど)	2,000
38	佐賀県	上峰町	移住者交流及びまちづくり活動者掘り起こし事業	一般社団法人起立工商DMO	移住者を対象にした交流会を行うことにより、移住者特有の悩みや困り事、また町の魅力を語らうことで、孤立しがちな移住者同士の交流を深める。またまちづくり活動に興味はあるが、活動の糸口が分からない者に対し、他市町で実績のある方を講師としワークショップを開催することで、まちづくり活動者の掘り起こしを行う。	○移住者交流会の実施(年2回) ○まちづくりワークショップの開催(年7回) ○情報発信事業	705

NO.	都道府県	市区町村	事業名	実施主体名	事業の趣旨又は目的	事業概要	助成額 (千円)
39	長崎県	波佐見町	都市と地方を結ぶ!関係人口創出・拡大プロジェクト	波佐見町	波佐見町の人口減少問題を解決する一つの仕掛けとして、都市と地方を結ぶ関係人口の拡大をテーマとし、波佐見町や会場となる吉祥寺のPR、移住相談会やふるさと納税のPR、サステイナブル、SDGsへの意識を取り入れた企画で感度が高い層の獲得を目指し、波佐見ファンの獲得と感度が高い関係人口の拡大を図り、最終的な移住定住へと結び付けていくことを目的とする。	都市と地方をつなぐ関係人口拡大のイベントを首都圏で3日間開催する。 ○両自治体首長のトップ会談 ○波佐見×吉祥寺（食の発信） ○移住相談会、お仕事紹介、オーダーメイドツアー ○ふるさと納税現地受付 ○陶箱クッキー&くらわんかセット販売 ○廃石膏リサイクル×SDGs（波佐見町のサステイナブル発信） ○体験×観光デスク ○武蔵野市（吉祥寺）発 サステイナブル	2,000
40	熊本県	菊池市	伝統舞踊「ほたる夜想曲」を核とした地域PRプロジェクト	菊池市ほたる夜想曲（踊）保存会	旭志地域の伝統舞踊である「ほたる夜想曲」を核に地域PRや交流を行い、菊池市の交流・関係人口を増加させ、過疎の是正に向け移住定住を推進することを目的とする。	○地域への愛着の醸成と後継者育成を目指した小・中・高生との交流 ○水の美しさをテーマにした「水まつり」の開催 ○菊池市市内の各種イベント等への参加	2,000
41	宮崎県	新富町	新富町台湾総合交流促進事業	新富町台湾総合交流促進協議会	海外友好都市との交流を通じて、世界で活躍できる人材育成、関係人口の創出等による地域活性化、特産品の活用等によるインバウンド観光事業や地域ブランド創出による産業振興を図り、地域住民が積極的に国際交流できる仕組みづくりや思考を醸成し、将来的な地域活動の活性化と持続的な交流関係の構築を目的とする。	新富町台湾総合交流促進協議会を設立し、交流事業を展開 ○修学旅行や海外派遣事業を通じた子どもたちの相互交流 ○スポーツを通じた交流 ・女子サッカー選手受入れ、野球チームの交流試合 ○地元産品の物流を通じた交流 ・輸出協議会を通じた販促活動 ・新設直売所での台湾フェアの実施	2,000
42	沖縄県	与那国町	「みんなで楽しく作ろう交流シェア畑!!」プロジェクト	与那国町	本町では移住定住促進、関係人口創出のため交流事業としてR4年「みんなで楽しくつくろう交流拠点」と題し空き家を交流ワークショップで改修し移住定住交流ハウスとなった。更に活用して田舎暮らし体験ツアーや収穫祭を開催し、町内での暮らしを知ってもらうとともに、移住者や住民と交流する事で町や人への理解・愛着をもってもらい、コアな交流・関係人口の創出、更には地域の担い手の移住・ミスマッチを減らし定住率アップにつなげたい。	①交流シェア畑の整備 ・移住体験住宅に隣接した空を整備し、みんなの交流シェア畑として活用 ②田舎暮らし畑体験ツアーの実施 ・移住体験施設に宿泊してもらい、田舎暮らし畑体験を通じて住民や農家と交流 ③収穫祭の実施（年2回） ・体験ツアー参加者や住民・農家を集め交流ハウスで収穫野菜BBQ交流会 ・来島できない参加者（オンラインでの参加者には収穫野菜を配送）	2,000